

# 中期経営計画

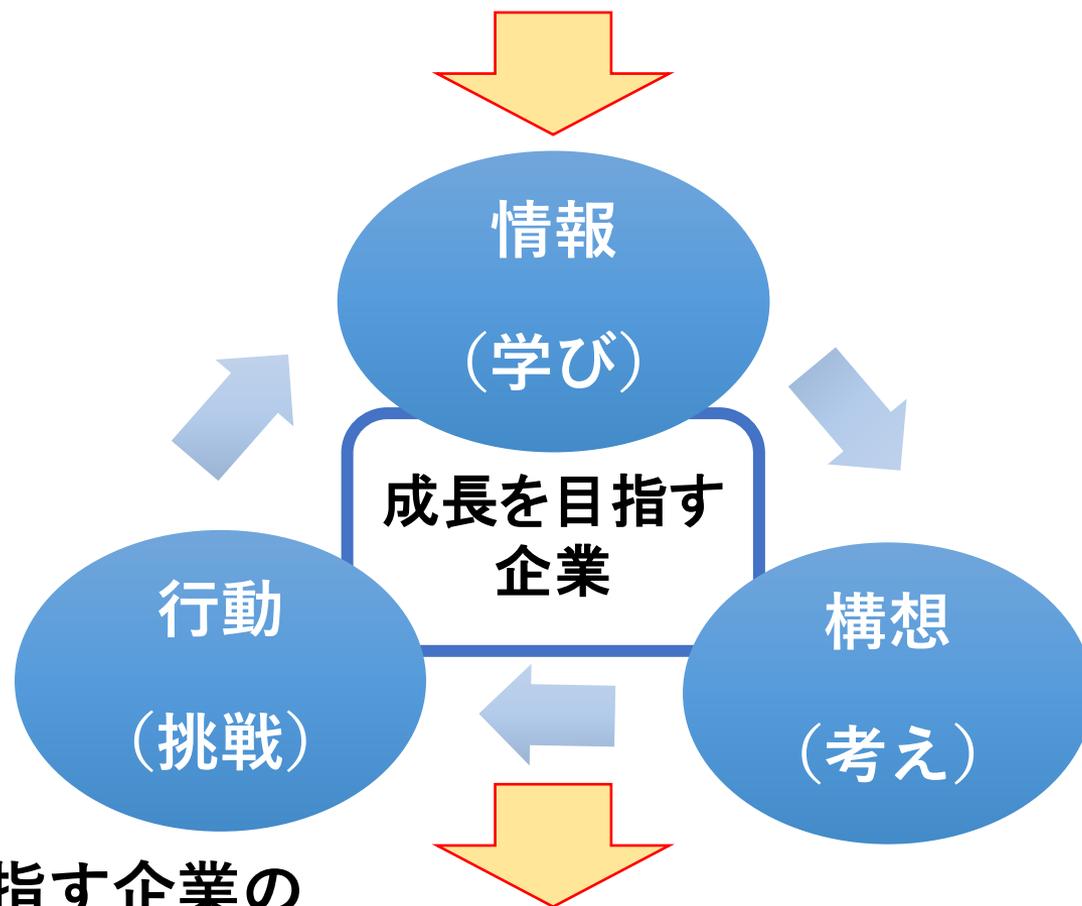
(2021年4月～2024年3月)

2021年3月17日

公益財団法人さいたま市産業創造財団



私たちは、それぞれの企業が成長するために、  
“学び、考え、挑戦する”ことを支援します。



成長を目指す企業の

- ・ 稼ぐ力の向上（コスト削減＋増収）
- ・ 経営基盤の強化、事業の転換 を実現する！

【4つの主要施策】

コロナ禍、ポストコロナの中で成長を目指す企業の

**1. 稼ぐ力の向上支援**

（生産性向上、高付加価値化に加えて新たな価値の創造を支援）

**2. 経営基盤強化支援**

（DX化、事業転換、事業再構築、産産連携・産学連携、経営改善等支援）

1、2を実現するためには

**3. 従来の支援 + ‘デジタル化’支援**

（従来の支援～創業、医療、海外、リーディングエッジ、産学等）

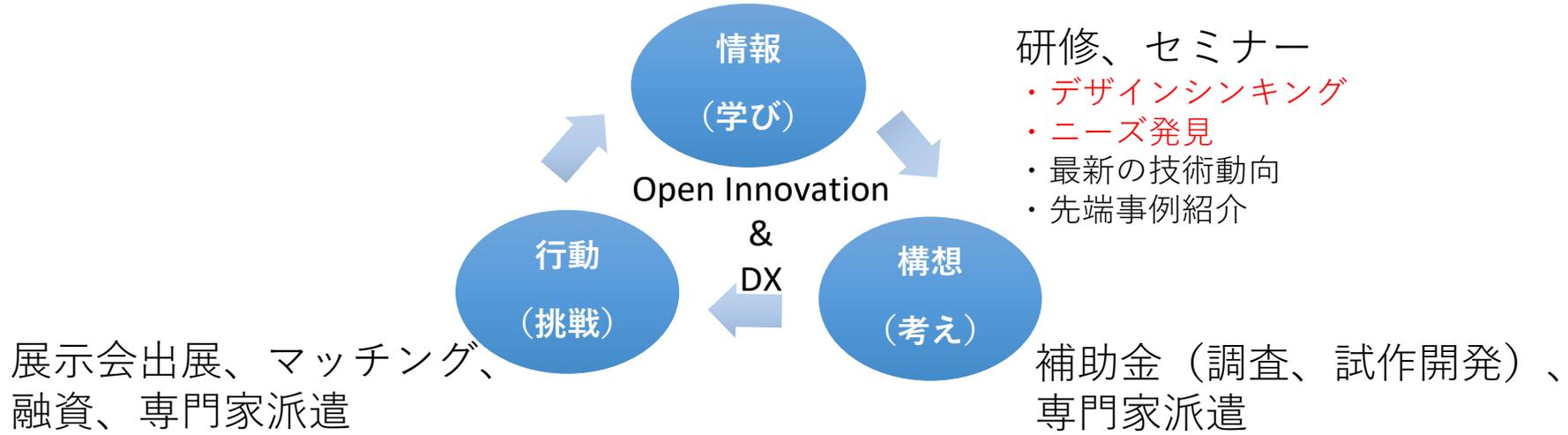
デジタル化により、今までにない新たな支援が必要

（例えば社内に蓄積したデータを活用、分析して新たな価値の創造支援等）

**4. 他機関との連携と財団内の人材育成**

（従来の大学、金融機関などの支援機関だけではなく、SIer等外部の力を最大限活用するとともに、新たに求められる人材、例えばデータ分析、簡単なプログラミング等に対応できる人材、を育成する）

**事業企画課**による支援の企画力向上 **×** **企業支援課**によるハンズオン支援



**国内外大学、各種支援機関だけではなく地域SIer、NTT東日本等と連携した支援体制の構築と新たな価値の創出支援**

新たな支援体制  
を構築（人材育成）  
DX導入支援による  
生産性向上、高付加価値化、  
業務改善支援スタート

新たな価値創造支援  
も実現

先端的な事例創出



# 稼ぐ力の向上（新たな価値の創造）支援イメージ

創業した企業が成長ステージへ

**創業支援**

**成長支援**

成長段階の企業が第2創業のステージへ

例えば



×



ビジネスコンテスト

=



×



ドイツとの技術交流

ドイツのソフトウェア会社との連携による検査システム自動化と日本でのビジネス連携、新規事業創出の取組

# 経営基盤強化支援イメージ

## 筋肉質の企業体質づくりのために

### ○DX化

量的改善→効率化、省人化  
質的改善→働き方改革、福利厚生、人事、社内ルール、仕組み  
(ワークジョイさいたま、他の支援機関と連携)

例えば



×



運行日誌のRPA化により業務の効率化

○事業転換、事業再構築、事業承継

○産産連携・産学連携      ○経営改善

等の支援を行う。

2018-2020の中期計画目標

1. 創業者数  
(女性、若者含む)
2. 課題解決先社数
3. ビジネスマッチング数
4. 産学連携マッチング数
5. 国際展開支援発掘件数
6. 医療の事業見込み  
案件発掘件数
7. ワークジョイ会員数
8. ワークジョイ事業所数



2021-2023の中期計画目標

1. 稼ぐ力の向上支援件数  
120件/3年  
(新分野における商品、サービスの販売開始)
2. 経営基盤強化支援件数  
90件/3年
3. DX実装支援件数  
120件/3年
4. 財団内DX化&人材育成  
(DB, データ分析等)



上記の中期計画に基づき単年度へブレイクダウン